

長崎の教育・学校現場の今を「ととってmotto!」と「NR」で定期的にお届けします。魅力ある取り組みや子どもたちの育成に励む教員たちを紹介します。

公式 YouTube



学校・教員の魅力を  
中心に発信しています  
ぜひチェックを  
お願いします!

公式 Instagram



「学校のネタ帳」を  
テーマに長崎の  
学校の話題を  
発信しています

教員採用募集サイト



先生の仕事や  
魅力を動画で  
見ることが  
できます

## 産学官が「学びの連携」 NEXT長崎人材育成事業

長崎県では、地域産業を支える人材育成に向け、県内の専門高校15校と産業界、行政が連携して取り組む「NEXT長崎人材育成事業」を進めています。文部科学省の事業を活用し、学校単独では難しい企業との継続的な協体制度を県単位で構築しています。スマート農業や半導体など、産業界の実践的な課題を高校のカリキュラムに取り入れ、地元企業への理解促進と若者の地域定着を目指しています。2月に開かれた発表会から、各校の特色ある取り組みをご紹介します。

農業

諫早農業高校

### スマート農業の 実践



県農林課やJA県中央会などと連携し、温室内の気温を管理する環境制御装置や、スマート農機の操作を体験。労働時間減や収量増につながる最先端の農業を学びました。

農業

北松農業高校

### 魚のアラ由来肥料で 野菜栽培



魚の残渣(ざんさ)を利用してKTX長崎平戸ラボトリーズが製造した液体肥料を使い、野菜を栽培。栄養価などを調べる実証実験に取り組みました。来年度は特殊カメラを搭載したドローンで成育状況を確認します。

水産

長崎鶴洋高校

### 新たな 加工法に挑戦



同校の臨海実習場で育てたヒラメを昌陽水産(長崎市)の協力で、切り身にして真空パックする調理法に挑戦。加工品実習の新製品開発に向けたアイデアを学びました。

工業

長崎工業高校

### 半導体に関わる 人材育成



工業化学科3年生の独自科目「半導体製造技術」では産学官でつくる「ながさき半導体ネットワーク」と連携。企業から講師を迎える出前授業では、業界の多様な分野・製造過程を基礎から学んでいます。

工業

鹿町工業高校

### 新名物 「しかお焼き」



3Dプリンタで試作を重ね、金型メーカー「山下金型西海事業所(西海市)」と連携して、同校キャラクターをデザインした焼き菓子の「焼き器」を設計から加工まで一貫して製作。文化祭で焼いて販売しました。

建設

佐世保工業高校

### 地元企業と 校内舗装



地元の建設会社「友建設」の協力で、土木科生徒が劣化した学校敷地内のコンクリート舗装をアスファルトに張り替えました。ものづくりだけでなく、予算書や工程表の作成、現場監督業務の模擬体験も行いました。

商業

佐世保商業高校

### 観光ビジネス×産業界



情報マーケティング科3年の商業科目「観光ビジネス」では、県や市、大学教授など産業界のプロによる出前授業が年間7割を占めます。こうした授業を参考にビジネスプランの作成演習にも取り組んでいます。

情報

諫早商業高校

### 実践的な 学びの進化



県情報産業協会と協定を結び、情報科生徒が社会課題の解決に向けたアプリを作成したほか、生徒が講師を務める小中学生向けのセキュリティ講座を開催するなど、テクノロジーと地域貢献について学びました。

福祉

口加高校

### ミライの介護 ～アロマ×美容×VR～



福祉科では、認知機能の維持が期待される介護美容の学習や、仮想現実(VR)を用いた加齢による視野狭窄(きょうさく)の疑似体験などを企業と連携して実施。介護される側に立った視点を養っています。

## 前田先生ってどんな先生?

平戸市出身で県立佐世保西高卒業後、福岡教育大学に進学。横浜市の教員採用試験に合格し横浜市内の中学校にて7年間勤務。その後、長崎県の教員採用試験を受けてUターン。現在は陸上部顧問も務めています。

### 先生のリフレッシュ方法

オフの日は家族でお出かけを楽しんでいます。柔軟な職場環境のおかげで、子育てと仕事の両立ができています。

今回紹介するのは  
平戸市立平戸中学校の

前田拓也先生

「誰かに教える楽しさ」原点に

## Teacher's File

長崎の学校で生き生きと働く  
先生たちにスポットを当てます

### 教員を目指したきっかけは

小学生の頃、授業の中で子ども同士が教え合う時間がありました。その経験を通して、誰かに教えることの楽しさを知り、「先生という仕事はすてきな」と感じるようになりました。中学校では陸上部に所属し、仲間と目標に向かって努力する部活動の魅力を実感。中学校の教員として生徒の成長を支えたいと考え、教員を志しました。

### この仕事に就いて良かったと思うとき

卒業生が町で声をかけてくれるときです。自分のことを覚えていてくれることにうれしさを感じる。同時に、成長した姿を見ることに感動します。また、高校に進学してからも陸上競技を続けることや、新たに挑戦を始めたことを知らせてくれる卒業生もおり、顧問として生徒の成長に関わっていることに、大きなやりがいを感じています。

### 地域との関わりで感じたことは

トウモロコシの収穫体験やジャンガラなどの伝統芸能を教えていただくなど、平戸ならではの魅力を、子どもたちに寄り添いながら伝えてくださる地域の皆さまに感謝しています。こうした交流を通して、子どもたちは多くの学びを得ており、私自身にとっても地域の良さを改めて知る、貴重な経験となっています。